

多高通信



第275号 令和6年7月30日発行
さどく ゆたかに たくましく
宮城県多賀城高等学校

災害科学科

「関西大学による模擬授業」実施

5月21日火曜日に関西大学の方々に模擬授業を開催していただきました。キャリアセンター所長で化学生命工学部の平野義明教授には生体材料化学について、関西大学副学長で社会安全学部の高橋智幸教授には津波・高潮・洪水等の水災害について講義をいただきました。災害科学分野に関する大学の模擬講義を聞くことで、進路について考えを深化させることができました。また、本校災害科学科卒業生の千葉陽太さんからメッセージをいただき、より明確な進路目標設定の一助となりました。



入試制度についての理解も深まり、目標達成のために「うべき」とを確認できる機会となりました。

1学年

「消費者教育に関する講座」実施

5月23日木曜日に、金融広報アドバイザーの熊谷千重子氏をお招きして、成年年齢引き下げと消費生活のリスク、ライフプランを考えるヒントについての講演を行っていただきました。リスクを充分把握せずに契約を結んでしまう危険性があることを高校生にとって身近な事例を含めてご紹介いただき、リスクについて自分事を感じる事ができました。また、ライブプランシミュレーションを生徒各自のタブレットで行い、進路意識の向上にもつながりました。



災害科学科

「宮城海上保安部日本赤十字社宮城県支部との合同訓練」参加

5月23日木曜日に災害科学科30名が合同訓練に参加しました。大規模地震発生時における被災者の救助に万全を期するため、宮城海上保安部と日本赤十字社宮城県支部が、相互協力の下、円滑な救護・救済活動体制を確認す



ることを目的として実施しているものです。本校生徒にとって、災害時の初期対応や救助活動について直接の体験から学び、今後の課題研究につなげることのできる良い経験となりました。



SS科学部

古代米学習プログラム参加!

6月5日水曜日に科学部11名と災害科学科8名が多賀城市の古代米学習プログラムの参加しました。多賀城市の特産品である「古代米」の栽培を教材として、地元地域の農業や食文化についての理解を深め、地元団体と協働して栄養価の高い古代米



を活用した防災食の提案・開発などを行っています。今後も地域の魅力開発と発信につなげていきたいと思えます。



語学研究部

「JICAフラザ東北の訪問学習」実施!

6月3日月曜日、語学研究部では、JICA東北フラザを訪問し、フェアトレードについて学びました。7月の多高祭でフェアトレード商品を販売することに向けて、フェアトレードについて理解を深めることと、国際協力に目を向けることを目的としました。講話では、国際協力には技術面、資金面があること、特に講師の島田先生が滞在していたカンボジアにおける日本のODA事業について内容について詳しく話していただきました。また、各国におけるSDGsの達成度とそこから気づくこと等を話し合いました。フェアトレードのメリットや問題点について、そしてフェアトレードの最終目的は自立に繋げることだとお話していただきました。

